

副専攻名	日本語学日本文学
------	----------

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)
 日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果

- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
- ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
- ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
- ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11029	日本の近現代文学	・「語り」に注目し、日本近現代文学作品を「なにがどのように」書かれているか意識した読解ができる。	2～4	*	
11030	日本の古典文学	・日本における古典とその需要についての基礎的事項を理解する。 ・中等教育における「古文」と古典研究との連続性と差異について自覚する。	2～4	*	
11031	古典と古典学	・日本古典文学の代表的な古典がどのように古典として認知されたかを知る。 ・古典学の成果を踏まえて、新たな古典的作品がどのように創造されたかを知る。	2～4		*
41903	古典文学研究法A	・日本の書物を分析し理解するための書誌学的方法論の基礎的な考え方を理解する。 ・日本の書物の歴史と、その文化史的な意義についての理解を深める。	2～4	*	
41904	古典文学研究法B	・古代・中世の日本古典文学についての研究・享受の歴史を踏まえた研究法を身に付ける。 ・文学作品を「書いてあるとおりに読む」ための基本的な方法を獲得する。	2～4		*
41905	近現代文学研究法	・さまざまな理論等に触れ、それらの知見を活用して自らの解釈を導き出せる。	2～4		*
11032	日本語学概説A	・日本語学の基本的なものの考え方を知る。 ・日本語の諸特性に関する基礎知識を身に付ける。	2～4	*	
11033	日本語学概説B	・日本語学の基本的なものの考え方を知る。 ・日本語の諸特性に関する基礎知識を身に付ける。	2～4	*	
41906	日本語研究法	・日本語の諸側面に関する調査、考察を進めるための基本的な方法と知識を身に付ける。	2～4	*	
41901	日本伝統芸能論A	・日本の伝統芸能の形成の歴史、大成後の展開、継承・保存の問題を概観するための基礎知識を獲得する。	2～4	*	
41902	日本伝統芸能論B	・日本の伝統芸能の伝書と台本を系統的に把握し、それぞれの特徴・問題に関する基礎知識を獲得する。	2～4	*	
41915	古代・中世文学講義A	・古代・中世の日本文学史を縦に貫流する問題を取り上げて、その展開を追跡する力をつける。 ・広い視野のもとに古代・中世文学の特徴やそれを対象とする研究の在り方を追求する力をつける。	2～4	*	

副専攻名	日本語学日本文学
------	----------

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)
 日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果
 ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
 ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
 ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
 ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41916	古代・中世文学講義B	・古代・中世の日本文学史からある時代を取り上げて、同時代の広がりの中で、ジャンルを横断して看取できる共通点について考える力をつける。 ・広い視野のもとに古代・中世文学の特徴やそれを対象とする研究の在り方を追求する力をつける。	2～4		*
41917	中世・近世文学講義A	・中世から近世前期までの古典学の展開についての基礎的事項を理解する。 ・文芸創作と学問との関係について理解を深める。	2～4		*
41918	中世・近世文学講義B	・近世中期から末期までの古典学の展開についての基礎的事項を理解する。 ・近世期における文芸創作と古典学との関係の近しさについて理解を深める。	2～4		*
41919	近代・現代文学講義A	・文学と社会の関係に注意を巡らし、論理的読解ができる。	2～4	*	
41920	近代・現代文学講義B	・言葉の細部にまで注意を巡らし、注釈的読解ができる。	2～4		*
41921	日本語学講義A	個別のテーマを通して日本語の構造、日本語の歴史に関する理解を進展させる。	2～4		*
41922	日本語学講義B	個別のテーマを通して日本語の構造、日本語の歴史に関する理解を進展させる。	2～4		*
41911	日本語の歴史	・日本語の歴史に関する基礎知識、言語の歴史を扱う方法論を身に付け、日本語の歴史の諸問題について理解する。	2～4		*
41912	日本語学特殊講義A	・日本語学の個々のテーマに関する研究の実際を知り、その研究成果を通して、日本語、言語に対する理解を深める。	2～4	*	
41913	日本語学特殊講義B	・日本語学の個々のテーマに関する研究の実際を知り、その研究成果を通して、日本語、言語に対する理解を深める。	2～4	*	
41914	日本語研究講義	・日本語研究の最前線を知り、その研究成果を通して、日本語、言語に対する理解を深める。	2～4	*	
41923	古代・中世文学演習A	・古代・中世の文学作品を「書いてあるとおりに読む」力をつける。 ・そのために必要な基本作業を実践して身に付ける。 ・自分の考えをまとめ、発表する力をつける。	2～4	*	

副専攻名	日本語学日本文学
------	----------

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)
日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果

- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
- ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
- ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
- ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41924	古代・中世文学演習B	・古代・中世の文学作品を「書いてあるとおりに読む」力をつける。 ・そのために必要な基本作業を実践して身に付ける。 ・自分の考えをまとめ、発表する力をつける。	2~4		*
41925	中世・近世文学演習A	・古文を正確に理解するための注釈的な読解方法について知る。 ・日本文学を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査成果を整理して発表するためのプレゼンテーション能力を向上する。	2~4		*
41926	中世・近世文学演習B	・古文を正確に理解するための注釈的な読解方法について知る。 ・日本文学を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査成果を整理して発表するためのプレゼンテーション能力を向上する。	2~4	*	
41927	近代・現代文学演習A	・近現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2~4	*	
41928	近代・現代文学演習B	・近現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2~4		*
41929	日本語学演習A	・個別のテーマ・文献を題材として、現代日本語の構造、あるいは日本語の歴史に関する理解を深める。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査、考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2~4	*	
41930	日本語学演習B	・個別のテーマ・文献を題材として、現代日本語の構造、あるいは日本語の歴史に関する理解を深める。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査、考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2~4		*
41931	写本読解演習A	・日本古典文学の作品を写本で読む力をつける。 ・そのために必要なくずし字を読む力をつける。 ・諸本を読み比べることで問題を発見する力をつける。	2~4	*	

副専攻名	日本語学日本文学
------	----------

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)
日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果

- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
- ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
- ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
- ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41932	写本読解演習B	・日本古典文学の作品を写本で読む力をつける。 ・そのために必要なくずし字を読む力をつける。 ・諸本を読み比べることで問題を発見する力をつける。	2～4		*
41933	版本読解演習A	・日本の古典文学を研究する上で必要なくずし字読解能力を身に付ける。 ・本文を正確に理解するための注釈的な読解方法について知る。 ・調査成果を整理して発表するためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4	*	
41934	版本読解演習B	・日本の古典文学を研究する上で必要なくずし字読解能力を身に付ける。 ・本文を正確に理解するための注釈的な読解方法について知る。 ・調査成果を整理して発表するためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4		*
41935	古代・中世文学講読A	・古代・中世の文学作品を「書いてあるとおりに読む」力をつける。 ・作品の中に問題と答えを見つける力をつける。 ・自分の考えをまとめ、発表する力をつける。	2～4	*	
41936	古代・中世文学講読B	・古代・中世の文学作品を「書いてあるとおりに読む」力をつける。 ・作品の中に問題と答えを見つける力をつける。 ・自分の考えをまとめ、発表する力をつける。	2～4		*
41937	中世・近世文学講読A	・中世から近世にかけての日本の古典文学作品を読解する上での多様な方法論について知る。 ・文学と隣接諸学との接点について理解を深める。	2～4	*	
41938	中世・近世文学講読B	・中世から近世にかけての日本の古典文学作品の持つ諸特徴を理解する。 ・古典文学を研究する上での主要な辞書類や参考文献等を知る。	2～4		*
41939	近代・現代文学講読A	・近現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジюме等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4	*	
41940	近代・現代文学講読B	・近現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジюме等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4		*

副専攻名 日本語学日本文学

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果

- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
- ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
- ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
- ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41907	古代・中世文学史	・古代および中世の日本文学史についての基礎的事項を理解する。 ・文学とその周辺事象との関わりについて理解を深める。	2～4		*
41908	中世・近世文学史	・中世および近世の日本文学史についての基礎的事項を理解する。 ・文学とその周辺事象との関わりについて理解を深める。	2～4	*	
41909	近代・現代文学史A	・近代・現代(とくに前半期)の文学史に精通し、数多くの代表的作品に接することができる。	2～4	*	
41910	近代・現代文学史B	・近代・現代(とくに後半期)の文学史に精通し、数多くの代表的作品に接することができる。	2～4		*
41941	日本語学講読A	・現代日本語の構造,あるいは日本語の歴史に関する個別のテーマ・文献の内容を理解する。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査,考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4	*	
41942	日本語学講読B	・現代日本語の構造,あるいは日本語の歴史に関する個別のテーマ・文献の内容を理解する。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査,考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4		*